

シリーズ

設定目的

苗場山の西・南斜面の1帯には、我が国でも有数の規模の高層湿原、※せつづんしょくせい雪田植生、高山草原等があります。また、大岩山は、おおいわやま東西及び南北に延びる尾根筋に、安山岩の方状節理が発達し、切り立った断崖状の特異な景観を呈するとともに、広大な苗場山湿原の突端部となっています。

これらの生物群集を有する森林の保護・管理を図るために、設定しています。

地況・林況

苗場山の西・南斜面には十二立方キロメートルに及ぶ山頂台地にトキノウやモウセンゴケが生育する広大な湿原、大小の池沼や高山草原等が広がっています。また、この台地を取り囲むようにオオシラビソが優占する亜高山性の針葉樹林が広がっています。

第四紀の新しい火山により成立した地形であり、大岩山の南方から西方は高さ五百メートルに達する断崖となっています。

所在地
長野県栄村



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。

山頂に広がる天空の湿原

なえばやましつげん
苗場山湿原
生物群集保護林

トキノウ

シヨウキラン

※雪田植生とは、雪が吹きだまり、長く雪がある場所に生える草花のこと。雪がない短い期間で成長、開花・結実しなくてはならないため、環境に適応した種類のみが生育する。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。